



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第680号
2025年9月29日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代西高校をなくさないで!

千葉県は地域の声を無視して西校の廃校を進めています

千葉県教育委員会は5月に県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)を公示、八千代市西高を廃校し、八千代東高との統合を進めています。

しかし、プログラム案の公示前に実施した地域フォーラムと中学校長会の意見では、西校を高く評価する声と共に「存続させて」の声が多くあがっています。

さらに、プログラム案が公示された後に勝田台文化センターで実施された県民説明会では、東高の卒業生等からも反対の声が上がる中で、「統合の根拠となる適正規模の科学的根拠は？」の質問について、県側から説明が出来ないまま時間切れになっています。

「県教委の管轄」と言って取り合わない八千代市

文部科学省の「諸外国の教育統計」によると「先進国の高等学校の学級編制規模は20人程度で、最大でも30人」と記載されている一方で、日本は40人のままです。30人規模の学級であれば統廃合する根拠もなくなり、生徒主体の行き届いた教育ができるのです。こうした実情がありながら、県が示している高等学校の適正配置や募集定員などは、根拠がないものになっているのではないのでしょうか？

このような実態を踏まえて、日本共産党は9月定例議会の一般質問で「西高の存続を県に求めるべき」と提案しましたが、八千代市教育委員会からは「千葉県教育委員会の管轄である」、「回答する立場にない」と回答しています。

市は子どもたちと地域の為に本気で挑むべき

八千代西高が設置されている緑が丘地域は、人口が増加し、中学校が不足している地域でもあります。地域から西校存続の声が上がっている中で、八千代市の地域の財産であり、八千代市の未来に向けた宝物でもある八千代西高校の存続のために、本気で挑むべきです。日本共産党は八千代市にたいして強く要望しました。

県立高校統廃合中止を求める署名を県に提出

市民団体である「県立高校の統廃合を考える市民の会」は9月26日、千葉県教育委員会にたいして「県立高校統廃合中止を求める署名」2636人分を提出し、「県立高校の存続」とともに「少人数学級の実践の場として活かしていくこと」そして「関係者や市民の声の反映」を求めました。

日本共産党八千代市議団は、丸山慎一県議、船橋市議とともに市民団体の署名提出に参加し、県にたいして八千代西高校の存続を求めました。

